

# 物価高騰対策で24億円

上越市では、エネルギー、食料品等の価格高騰を踏まえ、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金等を活用し、生活者への支援と事業者等への支援の両面から必要な対策を講じることになりました。その予算総額は約24億円です。左に掲載したものは、関連事業と事業費の一覧です。これらの予算については30日の臨時議会で審査されます。審査内容は次号でお知らせします。



【蟬梅】ロウバイ科の落葉高木的一种。私は市内では数か所しか見えていませんが、早いところでは12月頃から黄色い花を咲かせます。なかには枝を切って玄関先で咲かせる人もいますが、甘い香りがいいですね。雪が積もっていても花は咲いています。花言葉は「慈愛」「奥ゆかしさ」「先見」「先導」など。1月16日、柿崎区内で撮影しました。

## 生活者への支援

(単位：千円)

N0	事業名	概要	事業費
所得の少ない世帯への支援			
1	生活困窮者自立支援事業	住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり3万円を支給するとともに、均等割のみ課税世帯に対して1世帯当たり1万5千円を支給する。	543,519
2		住民税非課税世帯に対し、灯油購入費を1世帯当たり5千円助成する。	86,991
子育て世帯等への支援			
3	物価高対応子育て応援手当（国制度分）	0歳から高校生年代まで1人当たり2万円を支給する。	501,992
4	物価高対応子育て応援手当（独自上乘せ分）	物価高対応子育て応援手当（国制度分）の支給対象者に対し、市独自で1人当たり5千円を追加支給する。	123,000
5	住宅リフォーム促進事業補助金（子育て・若者夫婦世帯支援枠）	子育て及び家事負担軽減のためのリフォーム工事を支援する。	20,000
市民の家計負担の軽減及び消費の下支えの取組			
6	生活応援クーポン券発行事業	家計負担の軽減と消費の下支えを図りつつ、市内経済の活性化につなげるため、市内の店舗等で利用できるクーポン券を発行する。 ・対象者：全ての市民（クーポン券発送前に設定する基準日において当市に住民登録されている方） ・クーポン券：1人当たり3千円分（1千円×3枚）のクーポン券を世帯ごとに郵送 ・利用店舗等：市内に所在する事業所、事務所、店舗等（業種は問わない）で、市からの募集に応募し、登録を受けたもの ・利用期間等：令和8年5月下旬（クーポン券の発送）から9月末日までを予定	578,024
7	プレミアム付商品券発行支援事業補助金	商工団体等が実施するプレミアム付商品券発行事業に要する経費を支援する。	50,000
8	住宅リフォーム促進事業補助金（一般枠）	市内経済の活性化と市民の居住環境の向上を図るため、住宅リフォーム工事を支援する。	53,086
合 計			1,956,612

## 事業者等への支援 (単位：千円)

NO	事業名	事業費
1	介護保険施設・障害者施設等物価高騰対策支援事業	331,409
2	酒米価格高騰対策支援補助金	3,600
3	加工用米価格高騰対策支援補助金	12,200
4	省エネ設備導入事業補助金	54,797
5	収益力・生産性向上推進補助金	30,000
6	粗飼料価格高騰対策支援金	9,997
7	農業用施設等維持管理費補助金	1,756
合 計		443,759



「町田のグロッコリーも出るよ」「雑煮と汁粉だよ」。そう言われて、25日、頸城区で行われた子ども食堂にちょこっとだけ参加してきました。楽しく交流できました。

# はしづめ法一の活動レポート

No.2237 2026.2.1  
発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3627  
通じないときは 090-5392-1961  
E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp  
URL https://www.hose1.jp/



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索



# 春よ来い

## 第八八四回 寒波のなかで

今冬は正月早々に一回目の寒波がやってきて、二十日過ぎには長期にわたる二回目の寒波がやってきました。今後まだ何回かやってきそうです。

一回目の寒波の時のことはすでに書いたように、除雪機のトラブルでひどい目にあったのですが、お陰様でその時の指先の小さなキズは治りました。

先日、同じ時期に頸城区の友人、Kさんに会ったら、「いやー、親指の先が割れちゃって、痛くて参ったよ」と言うのです。びっくりしました。まさか私と同じ場所を痛めたとは……。いろいろと聞いたら、原因は冷たい雪の中の作業で皮膚が割れたのだとわかりました。簡単に言うくと、加齢に伴う皮膚のトラブルです。二人ともそういう年になってしまったのです。

二回目の寒波はすさまじかったですね。降雪量が半端ではなく、一日に何回も除雪が必要な日が続きました。

そのなかで、二一日、二二日は市役所や地元で会議や新年会などがありました。日中は家にはいません。となれば、除雪作業はどうしても朝晩にやることになります。切なかったのは、除雪できる時間を十分取れないことでした。

私が除雪作業をしなければならぬ場所は自宅周辺と県道に至る道、地元事務所の駐車場です。この二か所は五百メートル離れているので、除雪機の移動に一五分ほどかかります。往復すれば三〇分です。この移動時間を短縮するために、今冬は一つ工夫をしました。

これまででは、どこで除雪を終わらせようと、最後は事務所の格納庫に除雪機をしまっていたのですが、今回は自宅周辺で作業が終わった場合は、シートをかぶせ、自宅の外にとめておくことにしました。これで一五分は短縮できます。

こういう時間短縮を実現したものの、除

雪作業そのものは同じ時間がかかります。夕方から夜にかけて除雪作業をし、一晩経ったらまた除雪機につかりました。

作業時間は一回につき一時間半から二時間です。長いときは、朝晩で四時間以上になります。亡き父のように民謡や歌謡曲を歌いながら作業をする能力はありませんので、黙々と作業を続けています。この作業の疲れがなかなか取れません。腰の痛み、腕の疲れなどが溜まる一方なのです。

寒波が続く中で難儀したのは除雪だけではなくありません。車での移動も大変でした。

私の場合、大雪であろが少ない雪であろが、毎週一回、「しんぶん赤旗」日曜版の配達であちこちに出かけます。先週の金曜日は、大島区旭地区に行きました。観測機器がある田舎では、積雪が二八〇センチにもなっていました。今冬の上越市内では最大の積雪です。

竹平の集会場を過ぎ、母の実家がある集落へ上っていく途中、私の車は前進もバックもできなくなりました。スコップで除雪し、何とか集会場付近まで戻り駐車しました。ところが配達を終えて、車を動かそうとしたら、まだ前にも後にも動かせなくなりました。最終的には除雪作業でやって来た丸和総建のブルのオペレーターさんに助けてもらい、脱出しました。

こういうなかで、疲れを取る方法の一つは近くの温泉につかることです。幸い、わが家の近くには長峰温泉ゆったりの郷やスカイトピア遊ランドなどの温浴施設があります。先日は、ゆったりの郷でコウノトリ観察仲間のSさんや元公務員のTさんなどと出会い、一緒に湯につかりました。みんなとおしゃべりするだけでくつろげます。

今冬はもうひと月、雪の心配をしながら生活しなければなりません。早く降雪が終わって、凍み渡りができるようになってほしい。ああ、また雪が降ってきました。

## 私の地元町内会でのサイの神

私の地元町内会のサイの神行事が18日、行われました。当初の予定を1週間遅らせて正解でした。天気は良く、風も無し、サイの神をやるには絶好の条件でした。

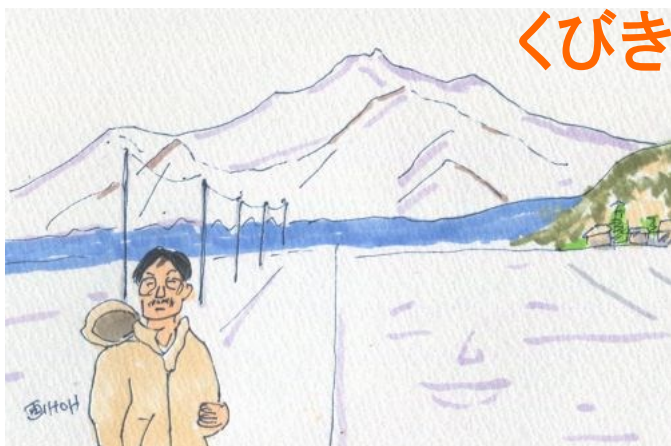
ただ、カヤが湿っていたので、なかなか燃え上がってくれませんでした。スルメ、チワワはなんとか焼くことができましたが、餅焼きは断念せざるを得ませんでした。

今回うれしかったのは昨年外国から移住してきた人も参加してくれたことです。消防団の若い団員



たちがスマホの翻訳機能を使って、「イエス、マイオフィス」などとやっていました。気持ち良い光景でしたね。

## くびき駅から見た米山



先週号で紹介した六角精児の「呑み鉄本線日本旅」。そこに登場したくびき駅から見た米山の風景、まさに絶景ですね。右側に見えるいくつかの民家は中島集落にあります。

## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	1月21日(水)	1月28日(水)
上越消防署	0.050	0.053
上越南消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.057	0.053
頸北消防署	0.057	0.047
頸南消防署	0.070	0.063
東頸消防署	0.057	0.053
名立分遣所	0.060	0.060
高士分遣所	0.057	0.050